

青木敬磨 （あきま けいご）、宗教哲學者、歌人。明治二十六年（二月十一日）兵庫縣
漣深郡御津村生れ、昭和十八年（二月十一日）没（九〇三―四二）。龍野中學
校、第二高等學校を経て、大正十五年京都帝國大學文學部哲學科卒。
渡見島、福井、大阪で教職。昭和四年攝津の行信教校に入り、六年に
は大谷女子專門學校の倫理科教授。翌年、自宅に寄宿してゐた伊東靜
雄等と同人雜誌『白』を創刊、編輯に當る。その後私家版歌集『坂の
上』（初版百部、改定版・昭和十三年四月）、『山寺』（昭和十四年
三月）を作つた。のち歸郷して漁業組合の専ら従ひ、傍ら浄土教壇の
研究に努め、『善導和尚』（昭和十五年十一月）『弘文堂書房』教
養文庫）、『念佛の形而上學』（昭和十八年九月）『弘文堂書房』
を著はした。